

## 心理学参考文献（知覚）（2013年8月改訂）

はおすすめ。 は広島キャンパス図書館になし（ は一部欠）

### 知覚全般の入門書

1. 椎名 「錯覚の心理学」 講談社現代新書  
わかりやすく内容も充実した錯覚の入門書として最適。
2. 一川 「錯覚学 - 知覚の謎を解く」 集英社新書  
いくつかの領域に分けて錯覚が生じるメカニズムを解説。
3. 宮本 「図解雑学脳のはたらき知覚と錯覚」 ナツメ社  
一般向けのやさしい概説書。
4. ルーメルハート 「人間の情報処理」 サイエンス社  
専門的な研究が紹介されているのでやや難解。

### 知覚全般の専門書

5. 北岡（編） 「知覚心理学 - 心の入り口を科学する」 ミネルヴァ書房  
知覚分野の専門的な内容をわかりやすく解説。
6. リンゼイ・ノーマン 「情報処理心理学入門」（～）サイエンス社  
大部の本だが内容はわかりやすく初心者にも理解できる。
7. 和田他（編） 「感覚・知覚心理学ハンドブック」 誠信書房  
専門的な研究者向けの事典的な本。

### 視覚全般の入門書

8. 村上 「どうしてもものが見えるのか」 岩波新書
9. 坪田 「近視を治す - 正しい検眼から最新の矯正手術まで」 講談社（ブルーバックス）  
上の2つは医学者の執筆した入門書。視覚の仕組みがわかりやすい。

### 視覚全般の専門書

10. 鳥居 「視覚の心理学」 サイエンス社
11. 大山 「視覚心理学への招待」 サイエンス社
12. グレゴリー 「インテリジェント・アイ」 みすず書房
13. グレゴリー 「見る仕組」 平凡社
14. グレゴリー 「脳と視覚 - グレゴリーの視覚心理学」 ブレーン出版  
上の5つは定評のある専門書だが、初心者には難解。
15. フリスビー 「シーイング」 誠信書房  
専門書だが、図や写真が多く載っているので見ただけでも楽しめる。

### 逆転メガネ

16. 太城 「逆さメガネの心理学」 河出書房新社
17. 吉村・川辺 「逆さめがねが街をゆく」 ナカニシヤ出版
18. 吉村 「3つの逆さめがね - 変換された見えの世界への冒険」 ナカニシヤ出版
19. 太城他 「上下反転眼鏡実験 - 基礎資料集」 ユニオンサービス
20. 積山 「左右反転眼鏡の世界 - ボディ・イメージからの接近」 ユニオンサービス  
上の5つは逆転メガネについての日本人による研究成果。最初の3つは読みやすい。

### ステレオグラム

21. 「C・G・ステレオグラム 驚異の3D」 小学館
22. 何森 「ステレオグラムをつくらう - あなたも3Dアーティスト」 日本評論社  
上の2つは3Dステレオグラムの体験、自作ができる本。

### 知覚関連の興味深い本

23. 島崎 「心で見える世界」 岩波書店（新書）

感情，欲求などの心の状態が，人間の知覚に及ぼす影響を具体的に述べる。

24. 馬場・田中 「試してナットク！錯視図典 - 古典的名作から新発見まで全体験」 講談社（ブルーボックス）  
錯視を体験する本。CDが付属している。
25. 北岡 「だまされる視覚 錯視の楽しみ方」 化学同人  
錯視の研究者による興味深い本。著者は錯視体験のできるHPも開設。
26. 苧阪 「地平の月はなぜ大きいか」 講談社（ブルーボックス）  
書名のままの古くからある問題について研究史を含めて幅広く解説。
27. 山口 「視覚世界の謎に迫る - 脳と視覚の実験心理学」 講談社（ブルーボックス）  
視覚の仕組みについて専門の研究者が最新の研究成果も交えて紹介。
28. 下條 「まなざしの誕生」 新曜社
29. 山口 「赤ちゃんは世界をどう見ているのか」 平凡社新書  
上の2つは赤ちゃんの視覚がどうなっているのかを，初心者にもわかるように解説。
30. 日本バーチャルリアリティ学会VR心理学研究委員会 「だまされる脳 - バーチャルリアリティと知覚心理学入門」 講談社（ブルーボックス）  
前半は知覚における脳の働き，後半はそれのバーチャルリアリティへの応用。